

# 日露省エネ・新エネ協力について

平成21年5月12日

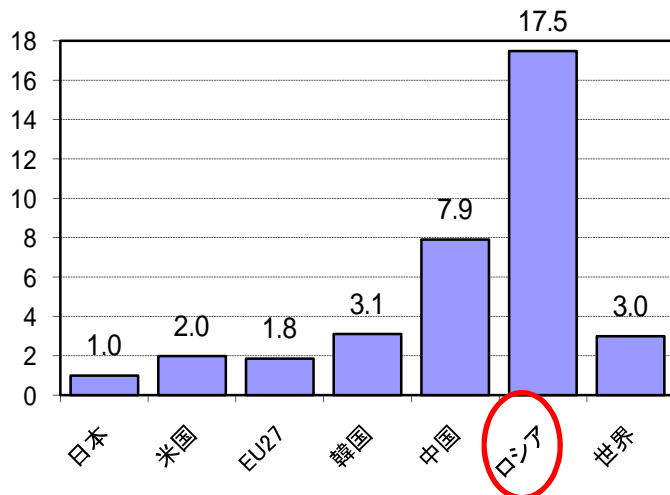
経済産業省

# ロシアの省エネルギー事情について

ロシアのエネルギー効率は我が国の約18分の1であり、効率改善の余地は大きい。しかし、低い国内統制価格などを背景に、エネルギー消費も年々増加傾向にあり、必要以上にエネルギーが消費され続けている。

ロシアとしても、省エネ・再生可能エネルギー政策を重視し、これまでに、2010年、2020年までそれらに関するエネルギー戦略を策定している。

各国のGDP単位あたり  
一次エネルギー供給量の比較  
(2006年)



資料: IEA「Energy Balances of OECD Countries 2005-2006」, 「Energy Balances of Non-OECD Countries 2005-2006」

(注) 一次エネルギー総供給(原油換算トン)/実質GDP(米ドル)を日本=1として換算。

主要エネルギー指標  
(2005年・石油換算)

一次エネルギー供給量	646 百万トン	
(参考)日本	587 百万トン	
エネルギー自給率	183 %	
一次エネルギー供給構成	石炭	16.0 %
	石油	20.6 %
	ガス	54.1 %
	原子力	6.1 %
	水力	2.3 %
再生可能エネルギー等	1.0 %	

豊富なエネルギー資源を背景にエネルギー効率は低い。

低い国内統制価格などを背景に、特にガスが占める割合が高く、ガス利用に係る省エネが重要。

約9割を占める化石燃料の抜本的な省エネは、ロシアにとって経済的意義が大きい。

## 日露省エネ・再生可能エネルギー協力の意義

省エネ・再生可能エネルギーの推進は、ロシアにとっても実需が大きく、非常に関心が高い。  
これまでも政府間で基本的な方向性についての合意はされていたものの、具体的な協力はあまり進んでいない。

省エネ・再生可能エネルギー協力に関する覚書の締結により、政府ベースでの協力を強化するとともに、経団連を母体とする協議会( )やJETROなどを活用し、ビジネスベースでの取組を更に強力に推進。

### 覚書の概要

「エネルギー効率の向上及び再生可能エネルギー分野における協力に関する  
日本国経済産業省とロシア連邦エネルギー省との間の覚書」

署名者：二階経済産業大臣 - シュマトコ・エネルギー大臣

#### < 具体的内容 >

制度的レベル、ビジネスベース、技術段階それぞれの段階での協力の促進を図る。

省エネ及び再生可能エネルギーの分野における情報や統計データの交換

知的財産の保護、ビジネス環境の整備を進めるため、民間企業等が参加する日露ビジネスフォーラム  
の設立支援

2012年APECの開催地であるルースキー島における同分野の最新技術の導入に向けた取組促進

協力のための長期的な協力プログラムや具体的な事業を含む年間の共同行動計画を毎年策定

行動計画のレビューや今後の事業の決定のため、民間企業等も参加する政府間の共同委員会の設置

世界省エネルギー等ビジネス推進協議会 会長：御手洗経団連会長

# (参考) 具体的なビジネスベースでの取組事例

## 発電分野

### ウラジオストックにおける 風力発電プロジェクト

設備容量：30～40MW

事業主体：電源開発・三井物産一国営電力会社  
RusHydro

- ◆ロシア初の本格的な風力事業案件
- ◆2012年に開催予定のAPEC会議の会場となるウラジオストック市ルースキー島で開発中。
- ◆ロシア政府極東開発プログラムの一環。
- ◆今回のプーチン首相の訪日にあわせ、5月11日、風況観測を開始する合意文書に署名。

(署名予定者：安部(あんべ)三井物産執行役員、水沼電源開発執行役員、ズバーキン総裁代行)

- ◆一年間の風況観測完了後、日本側としての投資判断を行う予定。

### ヤクーツクにおける 高効率発電設備の建設プロジェクト

設備要領：発電150MW + 熱供給300MW

事業主体：東洋エンジニアリング・三井物産－ヤクーツク・エネルゴ

- ◆サハ共和国の首都ヤクーツクにおいて高効率な発電・熱供給設備を建設するプロジェクト。
- ◆ロシア政府極東開発プログラムの一環。
- ◆今回のプーチン首相の訪日を契機に、合意形成を予定。

## 民生分野

### モスクワにおける省エネルギー建設プロジェクト (メトロポリア・プロジェクト)

事業主体：日建設計－メトロポール社

- ◆モスクワに、最新の空調技術などの省エネ技術を取り込み、ホテルやビジネスセンター、エンターテインメントなどの複合施設を建設するプロジェクト。
  - ◆従来のエネルギー消費の60%カット。
  - ◆今回のプーチン首相の訪日にあわせ、省エネ事業の可能性調査の共同実施に関する覚書を締結。
- (署名予定者：中村日建設計会長、スリペンチュック会長)

## 産業分野

### ナホトカにおける 高効率石油精製設備の建設プロジェクト

設備規模：年間処理能力2000万トン

事業主体：東洋エンジニアリング・三井物産－ロスネフチ

- ◆ナホトカにてエネルギー効率が高い石油精製及び石油化学プラント建設。
- ◆太平洋パイプラインの出荷地点にてロシア原油を使用して付加価値の高い石油・石化製品として輸出するロシア国家計画の一環。
- ◆今回のプーチン首相の訪日にあわせ、本計画の基本精神につき合意準備中。

(署名予定者：調整中)